

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2019/11/01～2019/11/30)

### 1. 勉学の状況

先月で授業が終わり、11月はテストが1つあるのみでした。前期から続けて履修しているクラスのものだったので、テストの形式や会場などは前期に受けたものと同じだったので、慌しい感じではありませんでした。一方で、千葉大学の方の授業には2回ほど、スカイプで参加しました。それまではモナシュ大学の授業と時間が被ってしまっていたので、レポートの提出で対応してもらっていました。



テスト会場だった競馬場

### 2. 生活の状況

今回は退寮・帰国準備について書いていこうと思います。まず持ち物に関して、1ヶ月かけて少しずつ整理をしていきました。余った食料・調味料や布団など現地で調達したのものに関しては、お土産を除いて基本捨ててしまいました。鍋やフライパンなどのキッチン用品は寮の方に寄付することができたので、壊れてしまったもの以外は全て監督生の方を通じて寄付しました。残りの持ち帰る荷物は全て、飛行機に持ち込める限度のスーツケース 2 個に収めて持って帰り、お土産の中には入国時に検閲が必要なものもあったので、それに当てはまるものはスーツケースに入れず、すぐに取り出せるよう席にまで持ち込めるリュックの中に入れていきました。

次に帰国当日の動きについて書いていきます。退寮に関しては、あらかじめ出発する日程を寮に知らせておき、当日の朝の 10 時には全ての荷物と一緒に撤収しなければいけませんでした。寮から空港までスーツケース 2 個を持って移動するのは無理があったので、寮の近くもまわってくれている空港行きのシャトルバスを手配し、バスのチケットは前もって乗車時刻などを指定した上でインターネットを通じて購入しました。飛行機が出発するのは深夜の 0 時ごろだったので、長い間重い荷物を持ってウロウロしているのは疲れてしまうので、退寮したらすぐにシャトルバスに乗って空港に行き、有料のサービスを利用して搭乗手続きの時間まで荷物を預けていました。手続きの時間まではご飯を食べたり、お土産を見たり、友達と電話をしたりして時間を潰していましたが、空港の中でまわれるところが意外と少なかったので、あまり動いていませんでした。

留学最終月でしたが荷造り以外全然書くことが無かったのでこのような内容になってしまい

ました。まだ帰ってすぐでバタバタしていますが、一度帰って来てしまうと留学中のことが一瞬のこのように感じます。少しずつゆっくりでも振り返りができればと思います。



帰りの機内で出されたティムタム